

高山自動車短期大学WRC参戦情報

2007.8/31～9/2

- ・ラリー期間中は現地より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT



8月30日（木） Vol.5 本日のサービスフォト

2007/08/30

スタートランプにのぼったワークスチーム

【写真左】

観衆に手を振って答える、ペタ・ソルベルグ（スバル）カー№.7

【写真中】

昨年のラリージャパンで優勝した、セバスチャン・ローブ（シトロエン）カー№.1

【写真右】

今年のWRC（第10戦まで）で現在ドライバーズポイントでトップに立っているマーカス・グロンホルム（フォード）カー№.3



8月30日（木） Vol.4 セレモニアルスタート

2007/08/30

今夜はハミルトン市内でセレモニアルスタートである。

今年のラリーニュージーランドはエントリー68台。

セレモニアルスタートはリバースで行い、カー№91は4番目のスタートとなった。

【写真中】

セレモニアルスタートを見守る学生メカニックたち。

カー№91を大声援で見送った



8月30日（木） Vol.3 記念撮影

2007/08/30

仕上がったラリーカーを前に記念撮影。
カー№ 91 ドライバー：大井こずゑ、コ・ドライバー：遠山裕美子



8月30日（木） Vol.2 記念撮影

2007/08/30

今年も多くの協賛会社のご支援をいただいての参戦ですが、今回「ピーターぱん」様よりいただいたトレーナーと昴技研様よりいただいたTシャツを着て記念撮影を行なった。

【写真中】
「ピーターぱん」様よりいただいた、カーナンバー「91」の数字の入ったトレーナーを着ての撮影

【写真右】
「昴技研」様よりいただいた、Tシャツを着ての撮影



8月30日（木） Vol.1 記念撮影

2007/08/30

本番前のすべてが整い、今日はラリー車とオールスタッフでの記念撮影を行った。
撮影予定の時間になり雨がパラつき始めたが、撮影をはじめた途端に雨が止み、晴れ間が広まってきた。
みんなの心がけがよいのか？これからのラリーを象徴するかのようである。

本日のVol.1、Vol.2の記念撮影の画像は大きくアップしております。
(1200×900) PIX・・・少し重たいかも。



8月29日（水） Vol.7 本日のサービスフォト

2007/08/29

現地スタッフのダリルさんのご好意でスバルSTIワークスチームのサービスパークの見学が実現できた。

【写真中】
ソルベルグのマシン

【写真右】

世界トップのワークスのサービス作業を真剣に見つめる学生メカニックたち



8月29日（水） Vol.6 車検

2007/08/29

【写真中】
検査を見守る学生メカニックたち。



8月29日（水） Vol.5 車検

2007/08/29

午後6:45、レース前の最大の難関である車検が始まる。
順調に終了すると思われたが、消火器作動の電源の不具合と消火器の設置位置を指摘された。
その場で作業を行い約1時間30分以上の検査となったが、無事に通過することができた。



8月29日（水） Vol.4 完成した本番車両

2007/08/29



8月29日（水） Vol.3 完成した本番車両

2007/08/29

今年も数多くの協賛会社を支えられWRCラリーニュージーランドにエントリーできました。
この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

「TAKAYAMA COLLEGE RALLY TEAM カーナンバー91」



- [Topics Board](#) -

高山自動車短期大学WRC参戦情報

2007.8/31～9/2

- ・ラリー期間中は現地より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT 

8月29日（水） Vol.2 サービスパーク開設と本番車両の最終整備

2007/08/29

ワークショップを撤去しサービスパークへの移動と設営を行う。
夕方の車検を前にして、本番車両最後の仕上げを行う。メインの作業は、GPSの取り付けである。

【写真左】
サービスパーク全景

【写真右】
GPSを取り付ける山本君



8月29日（水） Vol.1 レッキ二日目

2007/08/29

レッキ二日目。天候晴れ。今日は一日よい天気恵まれそうだ。今日も朝7時にホテルを出発。ワークショップから100kmほど北西に位置したLeg.2エリアを走行する。
二日目のレッキには学生メカニック2人（秋元、杉山）が同行した。
今日のレッキもトラブルなく、無事予定のSSを終了できた。





8月28日（火） Vol.3 レッキ初日（本番車両の整備）

2007/08/28

ワークショップでは、明日の車検に向けて本番車両を入念に整備した。また昨日HQ（Head Quarter：WRC大会本部）での参加確認をし、その際ラリーカーのステッカー等を受領しており、その貼付作業が慎重に行われた。

【写真右】
整備作業をチェックする、チームリーダーの三田村君。



8月28日（火） Vol.2 レッキ初日

2007/08/28

レッキ中は特にトラブルもなく、順調に予定のコース(SS)走行を終了した。
レッキ中の作業内容のメインは車両のクリーンアップと給油。



8月28日（火） Vol.1 レッキ初日

2007/08/28

レッキ初日。今日も雨で肌寒い一日になりそうだ。

朝7時にホテルを出発。ワークショップから100kmほど南西に位置したLeg.1エリアのSSとLeg.3エリアのSSを走行する。

レッキには学生メカニック2人（山本、金田）が同行した

【写真中】

レッキスタート前のドライバー（大井こず系氏:写真左）とコ・ドライバー（遠山裕美子氏）

今年のWRCラリーニュージーランドのカーナンバーは「91」。レッキ車にもステッカーを貼付し走行しなければならない。



8月27(月) Vol.5 参戦メカニックの紹介

2007/08/27

1. 氏名・出身県・出身高校等
2. ラリーでの担当
3. 今の意気込みを？
4. 練習で辛かった、苦しかったこと
5. 親、友人へのメッセージ（誰に、どんなメッセージ）
6. 気をつけたいこと
7. 自分をラリー車に例えるどのパーツ？（それは何故）

【写真左】

1. 山本 翔也 新潟県 佐渡総合高等学校出身
2. サポート担当
3. やるっきゃない！
4. 合宿。自分に足りない事が多すぎる事を実感したとき。睡魔
5. 親と友人へ（みんなの支えがあってここまでこれました。ありがとうございます）
6. 焦らないこと。安全・確実・迅速
7. 各 부품のセンサー（外からは何をしているか分からないがいろんなところを見張っている）

【写真中】

1. 米田 将典 富山県 大沢野工業高等学校出身
2. パーツリーダー
3. 持てる力を全部出す。完走を目指す
4. 合宿でダウンしたこと
5. 親へ、（楽しんでいきます。行ってきます）
6. 心身ともにしっかりと体調管理
7. 各種ガード（チームを下から支えます）



8月27(月) Vol.4 参戦メカニックの紹介

2007/08/27

1. 氏名・出身県・出身高校等
2. ラリーでの担当
3. 今の意気込みを？
4. 練習で辛かった、苦しかったこと
5. 親、友人へのメッセージ（誰に、どんなメッセージ）
6. 気をつけたいこと
7. 自分をラリー車に例えるどのパーツ？（それは何故）

【写真左】

1. 三田村 悠平 富山県 入善高等学校出身
2. チームリーダー
3. 後は前進あるのみ！
4. 合宿翌早朝の練習
5. 親へ、彼女へ（応援してくれて心から感謝しています。成長して戻ってきます）
6. チームワークと体調管理
7. ハンドル（自分の指示で全体の動きを操作する）

【写真中】

1. 三木 直道 岐阜県 飛騨高山高等学校出身
2. 右リア担当
3. どんなトラブルにも対応して必ず修理する
4. 合宿（本番を想定したサービス練習の繰り返し）
5. 親へ（親父も体験してきたラリーをこの目で見てきたい）
6. 体調管理
7. ラテラルリンクのアジャスティングボルト（いつもしっかりした値がでない）

【写真右】

1. 山田 麻由 京都府 山城高等学校出身
2. サポート(車内)担当
3. 全力でドラ、ナビをサポートします
4. 合宿の昼の30分サービス。体力的にも肉体的にもしんどかった
5. 両親へ（いつも見守ってくれてありがとう。短大進学にも反対せず応援してくれて感謝しています）
6. チームの足を引っ張らない。周りの動きをよく見て行動する
7. エアコン（あると快適）



8月27(月) Vol.3 参戦メカニックの紹介

2007/08/27

1. 氏名・出身県・出身高校等
2. ラリーでの担当
3. 今の意気込みを？
4. 練習で辛かった、苦しかったこと
5. 親、友人へのメッセージ（誰に、どんなメッセージ）
6. 気をつけたいこと
7. 自分をラリー車に例えるどのパーツ？（それは何故）

【写真左】

1. 田口 義人 岐阜県 各務原高等学校出身
2. エンジンルーム担当
3. 将来のために完全燃焼したい
4. 合宿
5. みんなへ（WRCを期に成長したい）
6. オイル管理
7. タイヤの溝

【写真中】

1. 竹村 大地 長野県 赤穂高等学校出身
2. 右フロント担当
3. 本番で如何に楽しめるか
4. 毎日の休まない練習
5. 以前の自分へ（自分を変えるため、見直すためにやってきた。変わって見せる！）
6. 落ち着いてミスを防ぐ。イラ立って仲間にあたらない
7. エンジンオイル（パーツとパーツ『人と人』の摩擦や蟻りを防ぐ）

【写真右】

1. 千葉 優太 千葉県 成東高等学校出身
2. パーツ担当
3. 自分の任務を確実にこなす！
4. 合宿でみんなの動きにうまくついていけなかった
5. 親へ（今までありがとうございます）
6. チームワーク
7. クラッチ（自分がテンション高い時よくスべるので）



8月27(月) Vol.2 参戦メカニックの紹介

2007/08/27

1. 氏名・出身県・出身高校等
2. ラリーでの担当
3. 今の意気込みを？
4. 練習で辛かった、苦しかったこと
5. 親、友人へのメッセージ（誰に、どんなメッセージ）
6. 気をつけたいこと
7. 自分をラリー車に例えるどのパーツ？（それは何故）

【写真左】

1. 齋藤 彬宏 青森県 五所川所工業高等学校出身
2. パーツ担当
3. やれるだけやる。すべてはそこから
4. 合宿中の睡眠時間がなかった
5. 親へ(行かせてもらってありがとう頑張ります)
6. 体調管理と集中力の保持
7. 車を飾るカッティングステッカー(ステッカー作りが大好き)

【写真中】

1. 杉山 透史 岐阜県 関商工高等学校出身
2. リアジャッキ担当
3. やれることを確実にやる!
4. 練習で苦しくなった時自分に甘くなってしまった
5. 友人へ(頑張ってくる!)
6. 安全、連携
7. プロペラシャフト(チームのやる気、体力をつなげて持続させる)

【写真右】

1. 高橋 充 福島県 金津農林高等学校出身
2. パーツ担当
3. ベストを尽くす
4. 睡眠時間がなかった
5. 友人へ(頑張ってくるぜ!)
6. 気を抜かない事。常に集中
7. ボルト、ナット(自分の管理部品なので)



8月27(月) Vol.1 参戦メカニックの紹介

2007/08/27

2007年ラリーニュージーランドには学生メカニックとして14名が参戦しております。みなさんに本戦前の生の声をお届けしたいと思います。(氏名の50音順です)

昨年同様、7つの質問に答えてもらいました。それぞれの決意表明(?)をお伝えします。質問内容は、

1. 氏名・出身県・出身高校等
2. ラリーでの担当
3. 今の意気込みを?
4. 練習で辛かった、苦しかったこと
5. 親、友人へのメッセージ(誰に、どんなメッセージ)
6. 気をつけたいこと
7. 自分をラリー車に例えるどのパーツ?(それは何故)

【写真左】

1. 秋元 惟裕 埼玉県 西部学園文理高等学校出身
2. 左フロント
3. 全力!全開!
4. 合宿翌早朝の練習
5. 友人へ(全力で頑張るので応援よろしく!)
6. 体調管理
7. リストリクター(周りのヒートアップを抑える)

【写真中】

1. 金田 賢史郎 長野県 飯田長姫高等学校出身
2. パーツ担当
3. 絶対完走させるよう頑張る！
4. 合宿で眠る時間がなかった
5. 親へ（頑張ります）
6. 体調管理
7. フューエルポンプ（叩くと直る）

【写真右】

1. 假屋 優 北海道 札幌拓北高等学校出身
2. 左リア担当
3. 絶対成功させる！
4. 合宿で眠れなかった翌早朝の練習
5. 親へ（父ちゃん母ちゃんやるぜ！）
6. うっかりミス
7. パワーウインド（あったらべんり）



MENU: BACK TOP NEXT

- [Topics Board](#) -

高山自動車短期大学WRC参戦情報

2007.8/31～9/2

- ・ラリー期間中は現地より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT 

8月26（日） Vol. 4 テストラン

2007/08/26

テストランも順調に進み、ランチタイムにも笑顔が・・・。
今日のランチはおにぎりとサンドイッチ。大自然の中でのランチは格別です。



8月26（日） Vol. 3 テストラン

2007/08/26

テストランコースを走る本番ラリー車両。

ニュージーランド特有のカマボコ状の路面に対応すべく、一走行ごとにタイヤのカッティング（幅、形状）を変え、かつアライメントを調整してのテスト走行となった。
学生メカニックたちは、その要求に対応するため微妙な調整を強いられたが、日本での練習の成果もあり、時間内に作業は終了した。
コースは片道2 kmの往復コースを4回繰り返し行った。





8月26（日） Vol. 2 テストラン

2007/08/26

テストランはワークショップから約70km離れたカフィア（kawhia Road：カフィアはSS12～SS17のコース付近に位置する）にて行うため、各種パーツを含めた荷物の移動もかなり大変な作業となった。
また、ニュージーランド特有のジャリ道コースに合わせてタイヤカットの作業も行った。
【写真右】
カフィア途中の風景。いかにもニュージーランドらしい、広い丘陵地での羊の放牧。
ここは日本じゃない。と改めて実感。



8月26（日） Vol. 1 テストラン

2007/08/26

今日から本格的な作業に入る。「世界ラリー実習」の実質的な授業開始はここから。
本学逸見監督の授業開始の挨拶とともにテストランのための車両整備にとりかかった。





8月25（土） Vol. 2 カルネ荷物整理と現地スタッフとの合流

2007/08/25

ワークショップでは、7月上旬に日本から送った車両の整備と各種パーツの整理を行った。
特に明日テストランを行うため、車両（本番車両、レッキ車両）のクリーンアップと簡単な整備を行った。
明日から本格的な整備作業が始まる。

現地スタッフ紹介
今回現地のスタッフとして2名のメンバーに協力してもらっている。
【写真中央：左】 Mr. ダリル（ニュージーランドスバルSTIクラブ会長）
【写真中央：右】 Mr. ハミッシュ（スバルディーラーメカニック）



8月25（土） Vol. 1 ニュージーランドの地へ（ワークショップ紹介）

2007/08/25

いよいよニュージーランドの地へ。南半球は今「冬」。オークランド空港から外へでるとやはり寒い。気温15℃。
ハミルトン市内のホテル到着後、早速市内から車で30分程南に離れたミステリークリークに位置するワークショップへ移動した。
ワークショップはサービスパークの敷地内で、非常に便利な場所である。そこのとても広い倉庫（ラリー期間中の車検場になる）を借りてこれから車検までの作業を行う。



8月24（金） いよいよ12年目のWRC始まる

2007/08/24

高山自動車短期大学にすっかり定着した、WRC世界ラリー選手権への挑戦。2007年ですでに12年目を迎えました。

2004年にラリージャパンが開催されて昨年、一昨年は海外へのWRC参戦を日本に切り替えていましたが、今年はWRC第11戦目となるラリーニュージーランドへ参戦し、12年連続の完走を目指します。先発隊として本学教員3名が8/20に日本を出発しました。そして学生たちメカニック本隊は本日8/24(早朝)に日本を発ちました。

高山自動車短期大学「TCRT」の輝かしい歴史を継承すべくがんばって参ります。どうか応援よろしくお願いします。

（応援メッセージも開設中です）ニュージーランド到着は翌25日9時予定です。時差は日本が-3時間です。（日本が朝9時の場合、ニュージーランドは同日のお昼12時です）



高山自動車短期大学WRC参戦情報

2007.8/31～9/2

- ・ラリー期間中は現地より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT



8月31日（金） Vol.8 本日のサービスフォト

2007/08/31

サービスパーク内に設営されたSS5を走る、ワークスチーム

【写真左】

マーカス・グロンホルム（フォード）

【写真中】

ペタ・ソルベルグ（スバル）

【写真右】

クリス・アトキンソン（スバル）

このSS5では、アトキンソンがトップタイム。
以下ローブ、ソルベルグ、グロンホルムと続いた。

Leg.1を終了してトップはグロンホルム。



8月31日（金） Vol.7 夜の45分サービス

2007/08/31

真剣な顔つきでサービスをこなしていく面々

【写真左】 杉山君

【写真中】 山田さん

【写真右】 斉藤君

Leg.1を終了して、カー№91（Takayama Collegeラリーチーム）は47位（67台中）



8月31日（金） Vol.6 夜の45分サービス

2007/08/31

今日2回目のサービスは45分。ラリーカーはLeg.1すべてのSSを、特にトラブルもなく走り終えて戻ってきた。

ここでの作業も最初のサービス同様、基本的なメニュー。



8月31日（金） Vol.5 WRC 最初のサービス

2007/08/31

SS1, SS2のコースの天候は雨が降ったり止んだり。
タイヤハウスには結構泥が付着していた。

SS1は約18km、SS2は今回のすべてのSSの中で最も長い約44kmのコースである。
コース約62kmとLiaison（移動走行）約150kmの合計212kmを走ってきた。



8月31日（金） Vol.4 WRC最初のサービス

2007/08/31

いよいよラリーカーがサービスイン。
ラリーカーには特にダメージもなく、最初の作業メニューはいつも練習してきた基本作業となる。
もう何百回と繰り返し練習してきた足回りのチェック、タイヤ交換等々の作業である。

【写真左】
サービスに向かってくる車を見つめる、チームリーダー三田村君



8月31日（金） Vol.3 サービスシュミレーション

2007/08/31

緊張が高まってくる。
いよいよ世界ラリーの「ひのき舞台」での最初のサービス（30分）が始まる。

いままで練習してきた成果を十二分に発揮できるか？
監督の「初めてのサービスだが、一つのミスも許されない。最初のサービスを完璧に行わないと最後のサービスまで引きずってしまう」との言葉に、更なる緊張が増したのか、不安を取り払うかのごとく、学生たちは「見えない車」にむかってサービスのシュミレーションを行った。

また、地元メディアの取材もあり、TV番組の中で紹介されるそうだ。



8月31日（金） Vol.2 Leg.1スタート

2007/08/31

Leg.1スタート。学生メカニックたちは「いってらっしゃーい」の掛け声でラリーカーを見送った

【写真中】
車に乗り込むドライバー。

【写真右】
サービスパークを後にする、カー№91。



8月31日（金） Vol.1 Leg.1スタート

2007/08/31

いよいよ本番である。
逸見監督の訓示のあと、チーム全員が円陣を組み、完走を目指し気合をいれた。

【写真右】
サービス前の最終チェックを行う学生メカニック

2007ラリーニュージーランド
エントリー：68台

GROUP (A:20台、N:48台)
CLASS (A6:1台、A8:19台、N3:4台、N4:4台)
MAKE (シビック:3台、フォード:11台、ホンダ:1台、三菱:30台、スバル:23台)
COUNTRY (日本:8台、ニュージーランド:22台、フィンランド:4台、イギリス:4台、etc:30台)



高山自動車短期大学WRC参戦情報

2007.8/31～9/2

- ・ラリー期間中は現地より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT



9月1日（土） Vol.6 本日のサービスフォト

2007/09/01

サービスパーク内に設営されたSS 9を走る、ワークスチーム

【写真左】

H.ソルベルグ（フォード）

【写真中】

ローブ（シトロエン）

【写真右】

ワークス（スバル）のサービス風景



9月1日（土） Vol.5 夜4 5分サービス

2007/09/01

昼のサービスで、フロントベアリングに少しガタがきていたのが分かっていたため、このサービスでは、フロントハブの交換とリアのドライブシャフトの交換を行った。
45分のサービス時間いっぱいかかる作業内容を、学生たちは緊張しながらも、手際よくこなしていった。

Leg.2も無事終了。あとは明日の最終日を残すだけだ。

Leg.2を終了して、総合46位（62台中）、N4クラス28位（40台中）



9月1日（土） Vol.4 地元メディア取材

2007/09/01

本学のサービス風景は、WRCでは非常に有名だ。

12年目を迎え、ここニュージーランドでも本学のサービスが始まる前から周囲を観客やワークスチームのサービスで取り囲まれる。（ワークスのサービスより観客が多いかも）

そのため地元の取材も多い。昨日は地元TVの取材があり、チャンネル3で放映された。

・ この放送はネットでも配信されているので下記URLへアクセスしてください。
<http://www.tv3.co.nz/VideoBrowseAll/SportsVideo/tabid/317/articleID/33744/Default.aspx?articleID=33744#video>



9月1日（土） Vol.3 午後30分サービス

2007/09/01

SS9まで順調な走行ではあるが、走行距離とともに、フロントベアリングに少しガタがきたようである。
このサービスでの交換は不要であるが、夜のサービスで交換が必要となりそうだ。少し忙しくなりそうである。



9月1日（土） Vol. 2 SSでの走り

2007/09/01

サービスパーク内に設けられたSSでの走行。
距離は3.14kmと短いダートコース。
午前のSS9終了時点で総合44位。（62台中：この時点で6台がリタイヤしている）

【写真左、中】
SS9を走るカー№9 1

【写真右】 昨日のSS1での走り（WRC7° 山中山氏提供）



9月1日（土） Vol. 1 早朝10分サービス

2007/09/01

朝6時にホテルを出発しサービスパークへ。
遅くまでミーティングをしていた学生の睡眠時間は3時間程度。朝の10分サービスは特に大きな作業はない。
今日のLeg.2が一番長い距離を走行する（545km）一日となる。

【写真中】

作業の段取りを再確認する学生メカニックたち。

【写真右】

Leg.2に出発するドライバー大井こずゑさん



高山自動車短期大学WRC参戦情報

2007.8/31～9/2

- ・ラリー期間中は現地より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT 

9月2日（日） Vol.7 12年連続の完走！

2007/09/02

1996年から始まったWRCへの挑戦。
今年は初めての地、ニュージーランドに舞台を移しての参戦であった。
4月からの「実践ラリー」そして「世界ラリー実習」の授業は12年連続の完走という新たな勲章を「高山自動車短期大学」の歴史に刻んで完結した。
学生メカニックたちは現地に入り日々成長してくれた。辛かった合宿、毎日放課後の練習。ゴールランプにあがったときそのすべては「涙」になって表現された。

本当におめでとう。素晴らしいサービスでした。

このたびのWRC参戦、そして完走は応援して下さった皆さんのお力添えがあってこそ成し遂げられた栄光です。
応援メッセージを送っていただいた皆様にも感謝いたします。

☆最終RESULT☆
総合 43位（59台完走）
N4クラス 27位（38台）



2007/09/02





9月2日（日） Vol.6 本日のサービスフォト

2007/09/02

2007年WRC第11戦ラリーニュージーランドは、グロンホルム（フォード）の優勝で幕を閉じた。2位ローブ（シトロエン）との差はわずかに0.3秒という僅差であった。以下3位ヒルボネン（フォード）

【写真左】
優勝ランプに上ったグロンホルムを見つめるローブ

【写真中】
優勝ランプに上ったグロンホルム



9月2日（日） Vol.5 最後のSS

2007/09/02

カー№91は最後のSSを残し、サービスパークに戻ってきてくれた。
Leg.3のSSは非常に狭く、かつ非常に滑りやすい路面との戦いであった。

【写真左】
最終SSを走るカー№91

【写真中】
カー№91を「のぼり」を持って応援する学生たち



9月2日（日） Vol.4 リモートサービス

2007/09/02

ここでのサービスはメカニックは5名と限定されている。
学生は三木、秋元、竹村、假屋の4名で行った。

少数での作業に不安があったが、タイヤ交換等の作業を時間内に終了できた。

【写真左】
即席でサービスエリアを準備する4名の学生



9月2日（日） Vol.3 リモートサービス

2007/09/02

本日最後のサービスは、サービスパークより約100km離れた、西海岸のRAGLAN地区でのリモートサービスとなる。

非常にロケーションのよい場所である。ニュージーランドに来て初めて海を見た。



9月2日（日） Vol.2 本学スタッフの横顔

2007/09/02

【写真左】
現地スタッフ、ゲイリー氏と打ち合わせする逸見監督と坂井マネージャー

【写真中】
毎日、学生たちの食事の面倒を見てくれている、森田さん（写真右）と松本さん。
彼女らのおかげで日本食が毎日のように食べられた。彼らのパワーの源である。



9月2日（日） Vol.1 最終日。Leg.3

2007/09/02

ラリーも残りの一日となった。
昨夜の45分サービスで、オイル供給後のオイル板の固定に不安があったとの報告があり、今朝の10分サービスでゆるみがないかを確認するための作業が行われた。

【写真左】
短い時間での作業となるため、ジャッキアップせず車をリフトさせて行った。

【写真中】

パーツ班の千葉君
必要なパーツ等を迅速に供給するため常に作業を真剣に見守っている。今日は朝から緊張した雰囲気
で始まった。

さあ、残りはLeg.3、約300kmである。

